



皮膚科専門医が教える美肌へのヒント

美肌へ導くQ&A



教えてくれるのは
三番町SAORI皮膚科
院長
宮脇さおり先生
日本皮膚科学会皮膚科
専門医。男女年齢問わ
ず、患者のあらゆるニーズ
に応える努力を続ける。
愛犬レオ君にメロメロ。



今月のテーマ

女性の肌悩み上位の「しみ」に 『レーザー治療・光治療』



Q.3 どんな治療方法があるのですか？

A. 老人性色素斑やそばかすといった表皮に現れるしみの治療に関しては、レーザー治療や光治療、塗り薬による治療などさまざまな選択肢があります。一方、真皮に現れる後天性真皮メラノサイトーシスは、肌の奥深くまで届くQスイッチレーザーでないと効果は期待できません。また老人性疣贅のようにイボ状になっている場合は炭酸ガスレーザーを使います。一回の治療で治したいという方にはQスイッチレーザーが適していますが、治療後2週間はテープを貼って過ごす必要があり、ダウンタイムも長いいため、それらを避けたい場合は光治療のアイコンマックスGやノーリスをお勧めしています。



MENU

- Q スイッチレーザー 1ショット1,650円
- 炭酸ガスレーザー 5ミリ未満1つ1,650円、5ミリ以上1つ5,500円ほか
- アイコンマックスG 全額27,500円
- ノーリス 全額22,000円

Q.1 しみにはどのような種類があるのですか？

A. しみは、大きく分けると老人性色素斑、そばかす、肝斑、後天性真皮メラノサイトーシス、扁平母斑(茶あざ)、老人性疣贅(老人性イボ)など様々な種類があります。中には一人の患者さんに複数種類が混在する場合も。また、しみだと思っていたものが悪性腫瘍だったということもまれにありますから、自己判断は避けて、皮膚科専門医の診断を受けることが大切です。

Q.2 どうやって診断をするのですか？

A. まずは問診と視診をしっかり行いますが、より正確な診断をするために「レビュー」という解析機械と、特殊な拡大鏡である「ダーモスコープ」を用いてしみの種類を見極めます。一見しみに見える悪性腫瘍も見逃さないように、細心の注意を払っています。診断結果と患者さんの希望に応じて、治療方法をご提案します。



Q.4 アイコンマックスGやノーリスはどのような治療ですか？

A. どちらもIPL(Intense Pulsed Light)と呼ばれる広範囲の光を顔全体に照射することでしみの改善が期待できるフォトセラピーです。しみだけでなく赤み、軽度のたるみや小じわ、ハリ低下などさまざまなお悩みに対応するのが特徴です。2つの機械の違いは、光の波長です。しみに対しては両者同等の高い効果が得られます。ハリや小じわは「アイコンマックスG」、赤みは「ノーリス」が強い印象ですが、個人の肌質や肌色によっても異なりますので、詳しくは医師にご相談ください。フォトセラピーはQスイッチレーザーと比べ効果はおだやかなため、月1回くらいのペースで5~7回継続する必要があります。しみは一度キレイになったらそれで終わりではありません。紫外線や加齢の影響により新たに出てくるものですので、定期的なメンテナンスが大切です。数カ月ごとにアイコンマックスGやノーリスのメンテナンス照射を行うと、いい状態を保つことができます。



クリニックDATA
医療法人
三番町SAORI皮膚科
☎089-997-7012
松山市三番町1-7-4 VTビル1F

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
11:00~14:00	休	休	○	○	○	○	○*
16:00~20:00	休	休	○	○	○	○	○*

*日曜は9:00~12:00、14:00~17:00

【皮膚科】



予約状況や美容に関する情報を配信中

【アートメイク】



＼CHECK!／

ひふかのつぶやき

スタッフによる美容情報・クリニックのトピックスなどをお届け!



先日、大阪で行われたヘア・アートメイクの講習会に、当院のスタッフ2名が参加いたしました。韓国の最先端技術を直に教えていただき、大変勉強になりました!

一緒に働いてくれるスタッフを募集! 応募はこちら

